



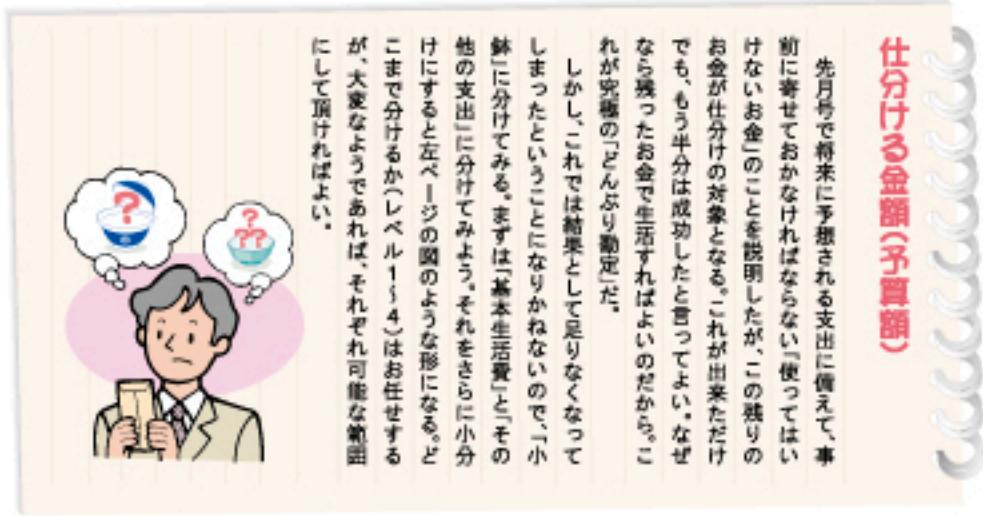
今月のテーマ - 仕分けを考える2 -

今日のつぶやき

何かと話題の多い「事業仕分け」だが、「仕分ける側」と「仕分けられる側」の双方が戯々慈々とし、「いかに無駄を省くか」「いかに予算を獲得するか」できめぎあっている。「家計仕分け」にあっては、そんな無いの場ではない。当然、そこには家族全員が関わることになるのだから、むしろ楽しいものでなければならぬ。

先月号でも書いたように、将来の予測されるイベントや夢の実現に向けて、貯蓄に回すお金をまずは寄せてしまう。そして、残りのお金を計画的に使うために配分し、予算化をしようというのだ。過去を振り返る家計簿の記帳と最も違うのは、将来の家計支出を予算化してしまうことにある。家計簿をつけた結果が、今月は赤字だの黒字だのと一喜一憂しないように、予算に基づいてお金を使うことになるのだから、家計簿を先に作ってしまうようなものだ。予算通りに事が運べば、家計把脈のために家計簿をつけるよりは、ずっと効果があると言って良いかもしれない。何より、いったん予算を仕分けてしまえば、将来の予定に大きな変化がない限り、しばらくはそのままでも良いといえる。最初はちょっと大変だけど、一旦軌道に乗ったらしめたものである。

家計仕分けとは、これまで子供に「無駄遣いしないで貯金をしなさい！」「計画を立てて使いなさい！」と言って来たことを、自ら実践することなのだ。



先月号で将来に予想される支出に備えて、事前に寄せておかなければならぬ「使ってはいけないお金」のことを説明したが、「この残りのお金が仕分けの対象となる」これが出来ただけでも、もう半分は成功したと言つてよい。なぜなら残ったお金で生活すればよいのだから。これが究極の「どんぶり勘定」だ。

しかし、「これでは結果として足りなくなつてしまつた」と「どうして」になりかねないので、「小鉢」に分けてみる。まずは「基本生活費」と「その他の支出」に分けてみよう。それをさらに小分けにすると左ページの図のような形になる。とここまで分けるか(レベル1→4)はお任せするが、大変なようであれば、それぞれ可能な範囲にして頂ければよい。

あら、くわくわ、窓をそれのアラ様にしないで、
ならないように仲良くなつて欲しい。
これまで、ありそうでなかつた家族の将来
について話し合う絶好の機会として願きたい
のだ。

仕切る金額(予算額)

仕分けることは
現状を理解すること！



保険と暮らしの相談センター

お気軽にお相談ください。

- 家計の管理●お金の運用
 - 保険やローンの選択・見直し
 - 年金●教育●住宅、相続etc...

皆様の生活設計をより良いものにするためのお手伝いをいたします。

株式会社
トータルサポート

2010年9月1日～2011年3月31日

●営業時間：8:30～19:00 ●定休日：水曜日

TEL 018-827-7611

Fax 018-827-7610

浦立語彙
預付中！

支行や、
保険と家計の
まるごと診断致します。



不景気から安心へ

仕分けることは、それ自体が目的ではなく、その過程から発見される問題点を明らかにし、無駄や無理を本来必要なものへの予算に付け替えることにある。

仕分けることを面倒で辛い事のように思つていた方も多いと思うが、その実は楽しいものである「何より将来への不安を解消する」ことにある。多くの方が、将来に不安を感じているのは先が見えないからであり、将来の計画・生活設計に基づく仕分けは、間違いなく「不安から安心へ」の確信に変える力を持つに違いない。

「基本生活費」の考え方

基本生活費は「」の家庭でも大なり小なり発生するものではあるが、基本的なものだから「この家庭でも同じ位かかっているか」というと、「これがまた相当な落差がある」「何でそんなに」という位に達する。見方を変えれば、それだけの差があるので、大きく増えちするし、削減できる可能性もあるということになる。

自分の家の支出が多いのか少ないのか、財の家計簿を覗くわけにもいかないので、その落差はほとんどの家庭でつかめていない。そして、長く続く家計のやりくりは、いつの間にか固定化し、若しくは少しづつ肥大化していることが多い。

改めて、現状を把握して見直しの可能性を探っていくなければならない。

「その他」の支出の考え方

この部分は、基本生活費と並んで、収入や年齢、家族構成など、それぞれのライフスタイルによつて大きく異なる。費目によってはまったく存在しないものもあるが、突出して大きくなつて

いるものもある。

改めて図の「仕分けレベル3」の内容を見て頂きたい。それぞれの考え方にもよるが、「この分野は「人がどう生きるか」という点でも大きな差が生まれることとなる。それだけに、慎重な予算配分をしたいものだ。この部分の仕分けを

極端な形で考えると、大きく勝ちむ可能性もあるが、ゼロにもできてしまう。どんな仕分けをしても正解はない」と、間違いでもない。それぞれの価値観や人生觀によって差が出てくる。家庭の将来設計にも大きな影響があるだけに、じっくりと話し合って頂きたいものだ。

